

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月15日更新

事務事業名		コミュニティ運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	牧野 淳一
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	遠坂 未来子
	施策の柱	38	生涯学習団体の育成		所属班	生涯学習班	(内線)	1506
予算科目	会計一般	款10	項5	目1	事業連番10815	根拠法令	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各コミュニティ運営委員会への補助金の交付 平成30年度に(10764)コミュニティ指導員配置事業と統合し、コミュニティ指導員の報酬支払い、各コミュニティ指導員の配置の体験講座の実施も行う。 旧合志地域にはコミュニティの仕組みが無いので、その点について区長会より意見が上がっている。モデルケースとして栄地域にみどり館を活動拠点とした「栄コミュニティ」を設立できないか平成28年度より数回検討会を開催し、地元区長と協議を重ねてきた結果、令和2年8月9日に「栄コミュニティ結成協定式」を栄地区8行政区長と行った。 現在のコミュニティ 中央コミュニティ(木原野、大池、御代志、若原、南原住宅、芝原、ユトリック団地、東大池) 合生コミュニティ(立割、生坪、私生、江良、高木、小合志、辻 久保、小池、合生住宅) 黒石コミュニティ(黒石、新開、黒石団地、九州沖繩農研、再春荘、黒石園、黒石園 陽光台、みずき台) 須屋コミュニティ(須屋、上須屋、堀ノ本、西須屋団地、東宮住宅、南原、南須屋) 野々島コミュニティ(北、本村、辻、東、湯之端、外園、中尾、城、上生、黒松、灰塚、くぬぎヶ丘団地) 栄コミュニティ(平島、鹿水、中林、後川辺、栄温泉団地、新栄温泉団地、山下団地、栄住宅)
【業務の流れ】	①各コミュニティ運営委員長からの補助金交付申請書を受理する。 ②申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して各運営委員長からの請求書を受け、補助金を交付する。 ③事業が終了したら、事業実績報告書を受理し、審査後確定となれば確定通知書を送付する。
【主な予算費目】	報酬、時間外手当、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	旧合志地域にコミュニティを形成を増やして欲しいと区長等より意見が上がっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	①中央コミュニティ運営委員会、黒石コミュニティ運営委員会、野々島コミュニティ運営委員会、合生地区地域づくり運営委員会、須屋コミュニティ運営委員会、栄コミュニティ運営委員会へ補助金交付を行なった。 ②コミュニティ指導員に報酬を支払った。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ①各コミュニティ運営委員会(中央・黒石・野々島・合生・須屋・栄)へ補助金交付 ②コミュニティ指導員の配置、指導員はコミュニティ活動の企画立案、各講座の指導を行なう。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:コミュニティや地区公民館への助成金額	(単位) 円
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民、市外からの通勤・通学者	(単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	生涯を通じて学習を行っている	(単位) %
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 自主団体数が増えることは、生涯学習団体の育成ができていることにつながるから		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	円	1,407,950	1,509,750	2,020,000	1,918,950	2,020,200	2,020,200	2,020,200	2,020,200	
② 対象指標	人	37,874	38,235	37,500	38,990	37,500	37,500	37,500	37,500	
③ 成果指標	%	0	31.2	35	40.2	35	35	35	35	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	10,778	11,519	12,513	12,293	12,838	12,838	12,838
		(A)のうちの指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうちの時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	2	2	3	2	2	2
		延べ業務時間	時間	180	40	200	540	200	200	200
(B)人件費計	人件費計	千円	709	156	796	2,055	796	796	796	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,487	11,675	13,309	14,348	13,634	13,634	13,634	

事務事業名	コミュニティ運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各コミュニティでは、感染対策を行いながら、地域のニーズに応じた活動を行っているため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 栄コミュニティでは、他のコミュニティ指導員の協力を得て子ども向けのイベント等を行い、地域住民の満足度を向上させている。 各コミュニティでも情勢に応じたイベントを計画するなど、今後の成果向上が期待できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業が無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 コミュニティの事業はコミュニティ運営委員および地域住民の協力のものに行われており、不足する分を補助金にて賄っているため、削減は難しい。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付事務は、主に申請時や実績報告時の書類審査であり、事務量も多くないので削減は難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 コミュニティ構成区における公民館数および戸数に応じて補助金を支給しているため、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付は市の要綱に基づいて決定しているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

コミュニティの活動が計画通り行われている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					